

釜石発

根浜海岸 防潮堤復旧工事始まる

着工したのは釜石市鶴住居町の根浜海岸に再建する、長さ 573 メートルの防潮堤です。根浜海岸は震災前、トライアスロンの国際大会が開かれるなどマリレジャーの拠点でした。しかし一昨年の津波で地域は甚大な被害を受け、防潮堤は被災部分を新たに作り直すほか、高さを元の海拔 5.6 メートルにかさ上げします。震災前よりも堤防を高くする地域が多い中、元の高さにとどめることを選んだのは、復旧後もにぎわいの場所にしたいという住民の願いからで、高い防潮堤で海が見えなくなってしまうことを懸念しての配慮です。(6/27)



大槌発

町中心部の復興事業始まる

津波で甚大な被害を受けた、大槌町中心部の復興事業がスタートすることになり、現地で安全祈願祭が行われました。町方地区と呼ばれる大槌町の中心部は、役場を含む街並みのほぼ全てが壊滅的な被害を受けました。今後は J R 大槌駅跡より山側のおよそ 30 ヘクタールを、平均 2 メートルかさ上げる大規模な土地区画整理事業が、復興街づくりの柱となります。今年 8 月にも着工し、早い所では平成 27 年度から住まいの再建が始まる予定です。(6/29)

宮古発

さんりく元気ラジオ

奇跡の一本松の復元事業の為の募金額が目標に届きました。戸羽市長がフェイスブックで発表したもので復元授業のための募金が目標額の 1 億 5 千万円を超えたことを明らかにしました。一本松の復元で陸前高田市は復興予算を使わない方針を決め、国内外に募金を呼び掛けていました。1 年ほどで目標額を達成したことについて戸羽市長は「応援してくれた皆様に感謝申し上げます」とフェイスブックに書き込んでいます。(6/28)

宮古発

宮古シートピアなあとリニューアルオープンへ



津波の直撃を受け被災した宮古市・出崎埠頭にある道の駅がおよそ 2 年 4 か月ぶりにリニューアルオープンしま

す。それを前に P R キャラバン隊が I B C を訪れました。東日本大震災の津波で建物が半壊し、去年 3 月から、仮設の店舗で営業をしていた「シートピアなあと」は元の建物の修復が完了。今週土曜日に、リニューアルオープンします。きょうは、キャラバン隊が I B C

本社を訪れ、ラジオで復活を P R しました。オープン初日の 6 日には、沿岸の海産物を使った限定メニューの販売やステージイベントも予定されています。今後は、宮古地域の物産販売や食の拠点として観光客誘致に、取り組んで行く方針です。(7/2)

久慈発 IBCラジオ

歌を絆に～東北希望コンサート

T B S ラジオと東北 3 局のラジオ局が放送している「歌を絆に～東北希望コンサート」の収録が 7/2 久慈町市立久慈中学校で行われました。今回、歌のプレゼントをしてくれたのは河口恭吾さん。河口さんは「桜」をはじめ「ハナミズキ」「翼をください」「ゆるりふらり」など 5 曲を熱唱。コンサートお礼に久慈中学校のマンドリン部&吹奏楽部のみなさんが、今全国的にも話題の「ご当地ソング」、『あまちゃん』のテーマを披露しました。東北希望コンサートの模様は、T B S ラジオの音楽サイト「らじこん」でも 7/17 から無料配信の予定です。



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122